

ー コロナ禍で働く女性の健康を、医師がオンライン医療相談でサポートー

【経産省補助事業】 オンライン女性健康相談サービス

「フェムラインかごしま」実証事業 鹿児島市の協力が決定

社会医療法人博愛会 相良病院（所在地：鹿児島市、理事長：相良吉昭）を代表とするコンソーシアムが2021年10月中旬より開始した経済産業省 令和3年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金補助事業「オンライン健康相談サービス『フェムラインかごしま』実証事業」に、鹿児島市が協力団体として参加することが決定しました。

コロナ禍で「病院を受診するべきか悩む」という女性職員・約1,900人に対して、オンラインで医師がアドバイスを行うことにより、適切な受診判断を支援します。また近年、健康経営の取組として女性の健康問題への関心が高まる中、女性職員のためのオンライン健康相談窓口と医師監修によるヘルスケア情報を提供することで、その効果を検証します。実証事業期間は、2022年2月末日までです。



【 鹿児島市が協力することになった背景ー鹿児島市 産業振興部 産業創出課からのコメントー 】

鹿児島市では、「ヘルスケア」などの成長分野における新たな産業を創出するため、多様な連携による新たなビジネス創出を支援しています。

今回の実証事業はヘルスケア分野において、複数の医療法人等がオンラインを活用した新たなサービスの創出を目指した取組であり、本市も協力団体として参加することで、この取組を支援し、事業展開に道筋をつけていただきたいと考えたところです。

【 フェムラインかごしま 遠隔健康医療相談サービス 実施医療機関 】

- ・ 社会医療法人博愛会 相良病院（代表団体：乳腺科・婦人科）
- ・ 医療法人真栄会 にいむら病院（女性泌尿器科）
- ・ 医療法人浩聖会 セイコメディカルビューティークリニック（美容外科・美容皮膚科）
- ・ 医療法人仁知会 竹内レディースクリニック（産婦人科）

【 フェムラインかごしま 協力団体 】

- ・ 明石屋菓子店・指宿白水館・鹿児島銀行・鹿児島市・南日本総合サービス・山形屋

【 フェムラインかごしま サービス開発・サポート担当 】

- ・ 株式会社 code

【 実証事業の内容 】

協力団体で働く女性従業員・約 5,700 人を対象に、医師による遠隔健康医療相談サービスを提供します。

オンラインによる健康相談を通じて、女性特有の健康の悩みや職場の環境課題、サービスの需要などを検証していきます。

また働く女性と経営者・管理責任者にアンケート調査を実施し、当事者である女性だけではなく、周囲の理解や問題意識、サポート体制に関する調査も行います。なお調査結果をもとにサービスの改善を図り、実証事業終了後のサービス継続・拡大を目指します。



【 令和 3 年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金 補助事業について 】

経済産業省による本実証事業は、働く女性の妊娠・出産・更年期障害等ライフイベントに起因する望まない離職等を防ぎ、個人の幸福（well-being）向上と企業の人材多様性を高めることを目指すものです。81 事業の応募があり、外部有識者による審査を経て、当団体を含む 20 事業が採択されました。

本件に関するお問い合わせ先

フェムラインかごしま 実証事業事務局

<http://femline.jp>

（社会医療法人博愛会 相良病院 事業本部 マーケティング部 担当：山内、里山、増元）

TEL：099-224-1811/info@sagara.or.jp